AMIYA

ライセンス定義

サーバアクセスログ
ALog ConVerter®

データベースサーバログ
ALog ConVerter® DB

統合ログ
ALog EVA

サーバマネージメント
Resource Athlete®

※ALog ConVerterは株式会社網屋の登録商標です。
※記載された会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。
※記載された製品の仕様・機能等は改良のため予告なく変更される場合があります。

2022年12月版

© AMIYA Corporation

ALog ConVerter 共通事項

■保守契約について

初年度1年間は保守契約が必須です。
ALog ConVerterは、サポート対象OS（サーバOS、クライアントOS）のバージョンアップに合わせてアクセスログの分析変換エンジンを随時更新しています。保守契約が失効すると、この変換エンジンの更新ができなくなり、正しいログ変換が行われなくなる可能性がありますので、ご利用期間中は保守契約を継続していただくことを推奨しています。
なお、ライセンスを追加購入した際に、先に購入した分と追加購入分で保守期間のずれが生じる場合、ご希望に応じて請求期間の調整を致します。
担当営業までお問合わせ下さい。

■ライセンスの移行をご希望の場合

サーバの統合化などで別のプラットフォームへライセンスを移行したい場合（例：ALog ConVerter forWindowsからforNetAppへ移行）お客様ごとに個別対応となります。担当営業までお問合わせ下さい。
なお、ALog ConVerter（DB, EVAを含む）とResource Athleteの間のライセンス移行はできません。

© AMIYA Corporation

for Windows Standard / Advanced Edition / for Linux

■必要ライセンス数

ライセンスは、ログ収集対象となるサーバの台数分ご購入ください。
物理サーバ、仮想サーバを問わず、サーバ1台につき1ライセンス必要です。
※CPUの数、コア数などで必要ライセンス数は変わりません。

■最小購入数

最小購入単位は5サーバライセンスとなります。
5ライセンス単位でのご購入をお願いしていますので、1ライセンスのみの購入はできません。

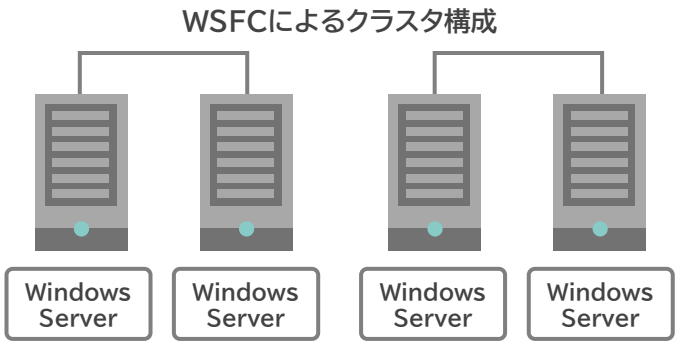
■ライセンスの追加購入

ライセンスの追加購入は新規購入と同じく5ライセンス単位でのご購入となります。
追加購入時の累積ボリュームディスカウントはありません。初回購入時にサーバの追加を加味したご購入を推奨します。

© AMIYA Corporation

ALog ConVerter for Windows / for Linux

例）WSFCクラスタ構成



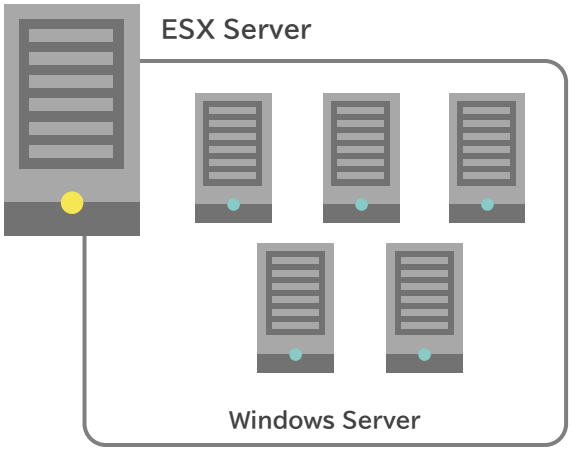
必要ライセンス

ALog ConVerter for Windows

4 ライセンス

※必要ライセンス数は4ですが、最小購入単位は5ライセンスとなります。

例）仮想化環境（ESXサーバー台に仮想サーバ5台）



必要ライセンス

ALog ConVerter for Windows

5 ライセンス

※ESXサーバは、監査対象外であることを前提とします。

© AMIYA Corporation

for NetApp / forEMC

■機種ごとの対応レンジについて

NASの機種に応じてSレンジ，Mレンジ，Lレンジの料金体系を設定しています。
ご利用のNASの機種をご確認の上、該当するレンジのライセンスをご購入ください。

■必要ライセンス数

ライセンスは、Activeなコントローラーの数分ご購入ください。
※EMC VNX/VNXeはデータムーバーまたは仮想データムーバー（VDM）、EMC Unityはストレージコントローラー（ストレージプロセッサー）をカウント対象とします。
仮想ストレージ（NetApp FASシリーズはvFilerまたはSVM、EMC VNX/VNXeのCIFS Server、EMC UnityはNAS Serverを仮想ストレージとします）を構築している場合、通常のライセンスに加えて仮想ストレージ数分の「仮想ライセンス」が必要です。
※for NetApp/EMCには、1サーバライセンスごとに「仮想ライセンス」が1ライセンス含まれていますので、1台の仮想ストレージからログを収集する場合は仮想ライセンスは不要です。ログ収集対象の仮想ストレージが物理サーバ数を超える場合に仮想ライセンスをご購入ください。

■ライセンスの追加購入

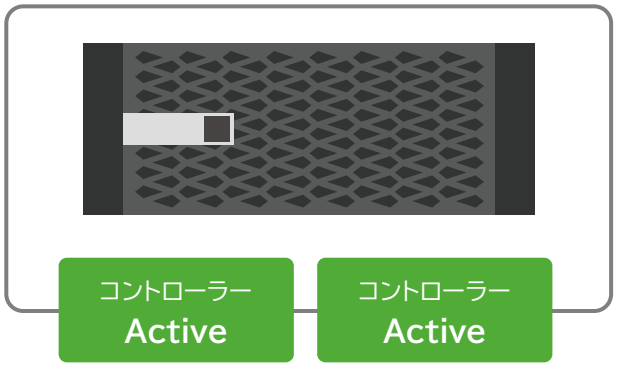
ライセンス追加購入時の累積ボリュームディスカウントはありません。初回購入時にサーバの追加を加味したご購入を推奨します。

■ Active Directoryからログオン/ログオフログを収集したい場合

for Windows Advanced Editionのライセンスを1ライセンス単位でご購入いただける「NAS用ALog for Win AE」をご用意しています。
NAS用 ALog for Win AE は、for NetApp/EMC/Isilonをご利用のお客様のみ購入可能です。
※購入は必須ではありません。Active Directoryからログオン/ログオフログを収集したい場合にご購入ください。

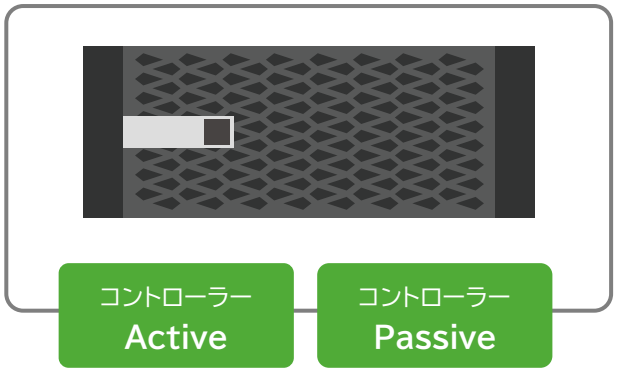
© AMIYA Corporation

例）2コントローラー（Active-Active）



必要ライセンス
ALog ConVerter for NetApp 2 ライセンス

例）2コントローラー（Active-Passive）

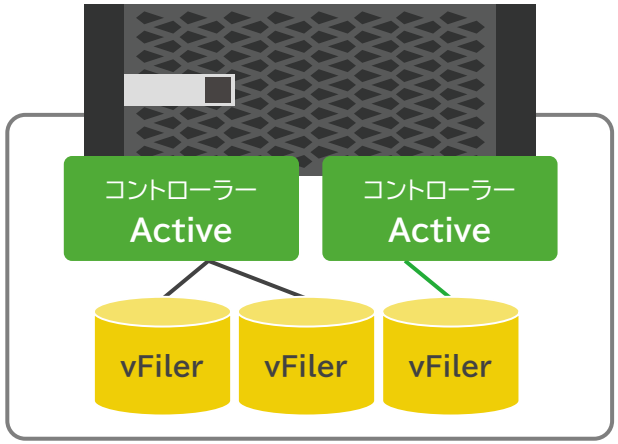


必要ライセンス
ALog ConVerter for NetApp 1 ライセンス

© AMIYA Corporation

ALog ConVerter for NetApp

例）仮想ストレージを構築している場合



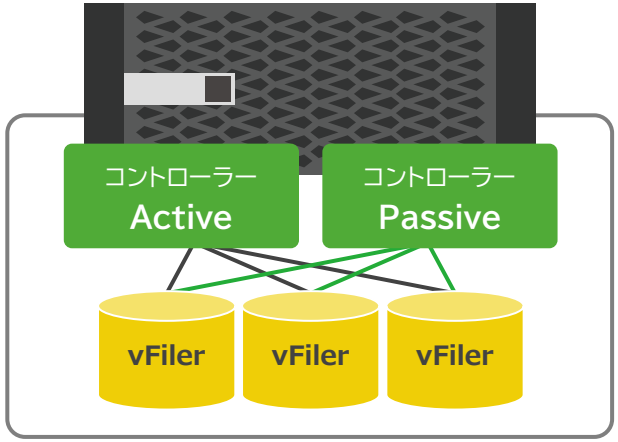
必要ライセンス

ALog ConVerter for NetApp

2 ライセンス＋ 1 仮想ライセンス

※ALog ConVerter for NetAppのライセンスは、1サーバライセンスごとに仮想ストレージ用ライセンスが1ライセンス含まれます。

例）フェイルオーバー構成の場合（Active-Passive）



必要ライセンス

ALog ConVerter for NetApp

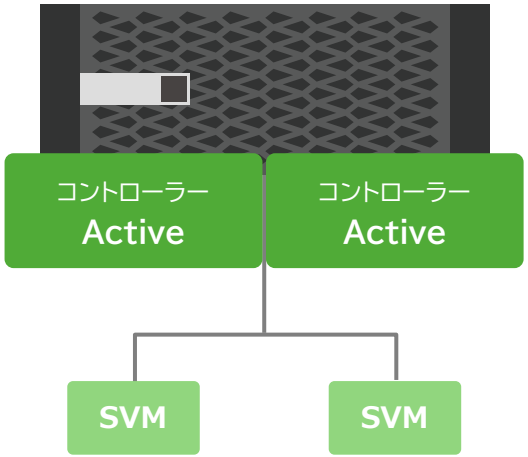
1 ライセンス＋ 2 仮想ライセンス

※この例は、コントローラーのバックアップとしてのActive-Passive構成であり、クラスタ構成を表すものではありません。クラスタ構成の場合は別途お問い合わせください。

© AMIYA Corporation

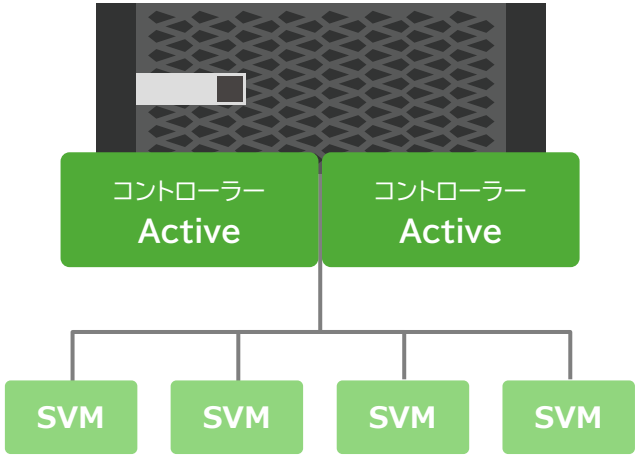
ALog ConVerter for NetApp

例）Clusterd Ontap（物理サーバ数＝仮想ストレージ数）



必要ライセンス
ALog ConVerter for NetApp 2 ライセンス

例）Clusterd Ontap（物理サーバ数＜仮想ストレージ数）



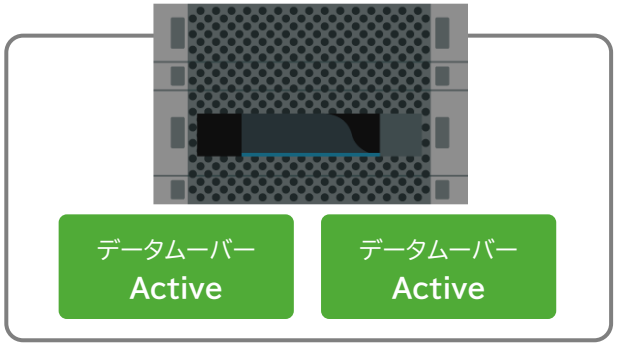
必要ライセンス
ALog ConVerter for NetApp 2 ライセンス＋ 2 仮想ライセンス

※ALog ConVerter for NetAppのライセンスは、1サーバライセンスごとに仮想ストレージ用ライセンスが1ライセンス含まれます。

© AMIYA Corporation

ALog ConVerter for EMC

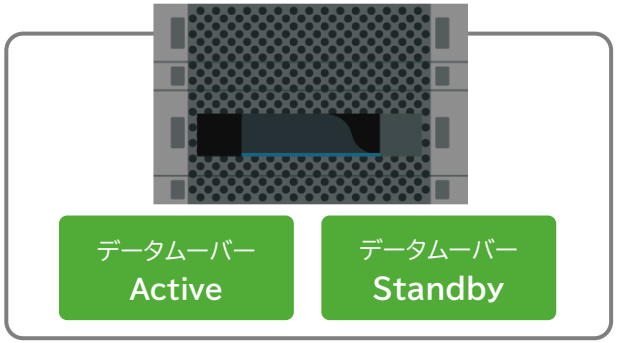
例）データムーバー×2の場合（Active-Active）



必要ライセンス
ALog ConVerter for EMC 2 ライセンス

※仮想データムーバー（VDM）の場合もカウント方法は同様です。

例）データムーバー×2の場合（Active-Standby）

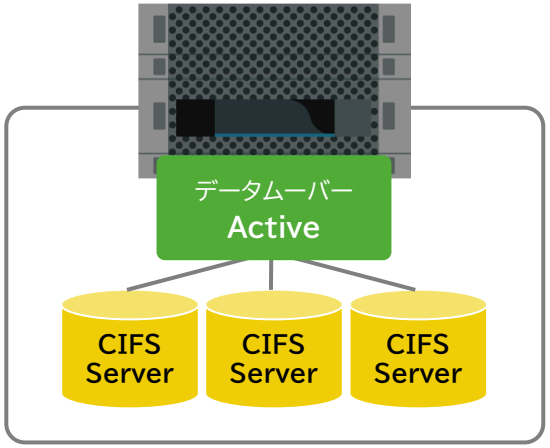


必要ライセンス
ALog ConVerter for EMC 1 ライセンス

※仮想データムーバー（VDM）の場合もカウント方法は同様です。

© AMIYA Corporation

例）CIFS Serverを構築している場合



必要ライセンス

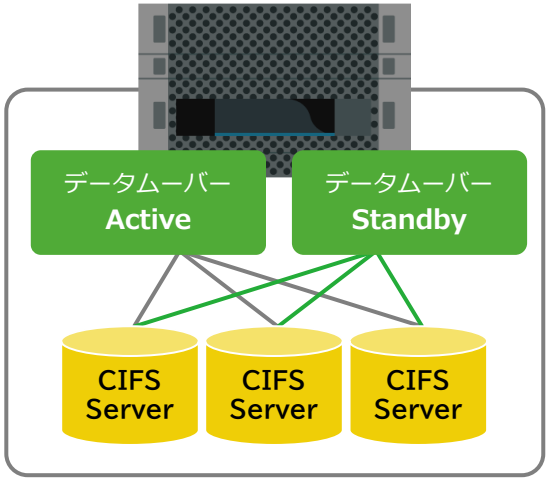
ALog ConVerter for EMC

1 ライセンス＋ 2 仮想ライセンス

※仮想データムーバー（VDM）配下にCIFS Serverを構築する場合もカウント方法は同様です。

※ALog ConVerter for EMCのライセンスは、1サーバライセンスごとに仮想ストレージ用ライセンスが1ライセンス含まれます。

例）フェイルオーバー構成の場合（Active-Standby）



必要ライセンス

ALog ConVerter for EMC

1 ライセンス＋ 2 仮想ライセンス

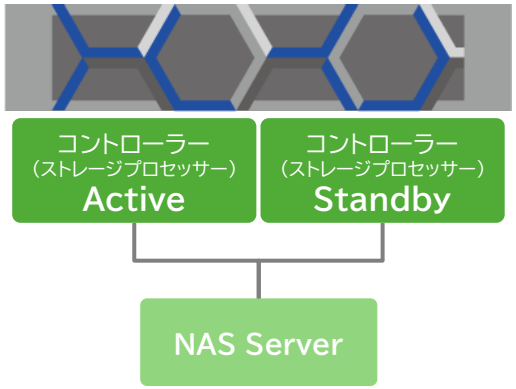
※仮想データムーバー（VDM）配下にCIFS Serverを構築する場合もカウント方法は同様です。

※ALog ConVerter for EMCのライセンスは、1サーバライセンスごとに仮想ストレージ用ライセンスが1ライセンス含まれます。

© AMIYA Corporation

ALog ConVerter for EMC

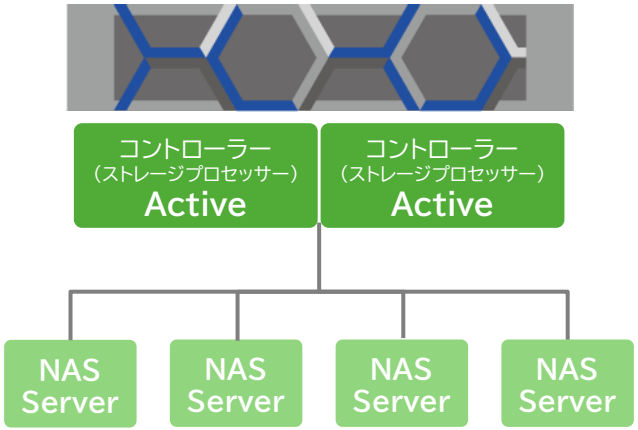
例）Unity（物理サーバ数=仮想ストレージ数）



必要ライセンス
ALog ConVerter for EMC 1 ライセンス

※ALog ConVerter for EMCのライセンスは、1サーバライセンスごとに仮想ストレージ用ライセンスが1ライセンス含まれます。

例）Unity（物理サーバ数＜仮想ストレージ数）



必要ライセンス
ALog ConVerter for EMC 2 ライセンス＋ 2 仮想ライセンス

※ALog ConVerter for EMCのライセンスは、1サーバライセンスごとに仮想ストレージ用ライセンスが1ライセンス含まれます。

© AMIYA Corporation

for PowerScale（Isilon）

■機種ごとの対応レンジについて

NASの機種に応じてSレンジ，Mレンジ，Lレンジの料金体系を設定しています。
ご利用のNASの機種をご確認の上、該当するレンジのライセンスをご購入ください。
アクセラレータを構成されている場合、ご利用中のPowerScale（Isilon）の機種に応じて、該当するレンジのライセンスをご購入ください。

■必要ライセンス数

PowerScale（Isilon）サーバが構成する全てのノード数分ご購入ください。

■ライセンスの追加購入

ライセンス追加購入時の累積ボリュームディスカウントはありません。初回購入時にサーバの追加を加味したご購入を推奨します。

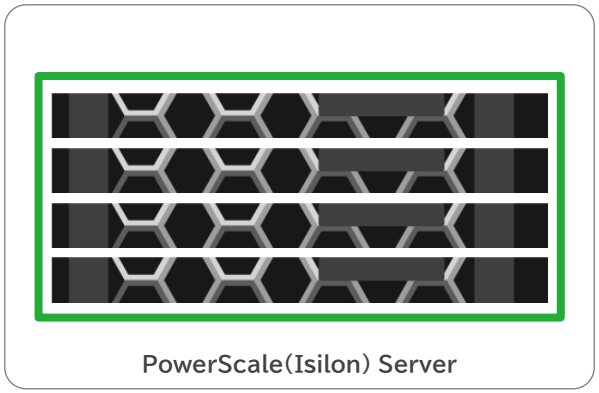
■ Active Directoryからログオン/ログオフログを収集したい場合

for Windows Advanced Editionのライセンスを1ライセンス単位でご購入いただける「NAS用ALog for Win AE」をご用意しています。
NAS用ALog for Win AE は、for NetApp/EMC/Isilonをご利用のお客様のみ購入可能です。
※購入は必須ではありません。Active Directoryからログオン/ログオフログを収集したい場合にご購入ください。

© AMIYA Corporation

ALog ConVerter for PowerScale（Isilon）

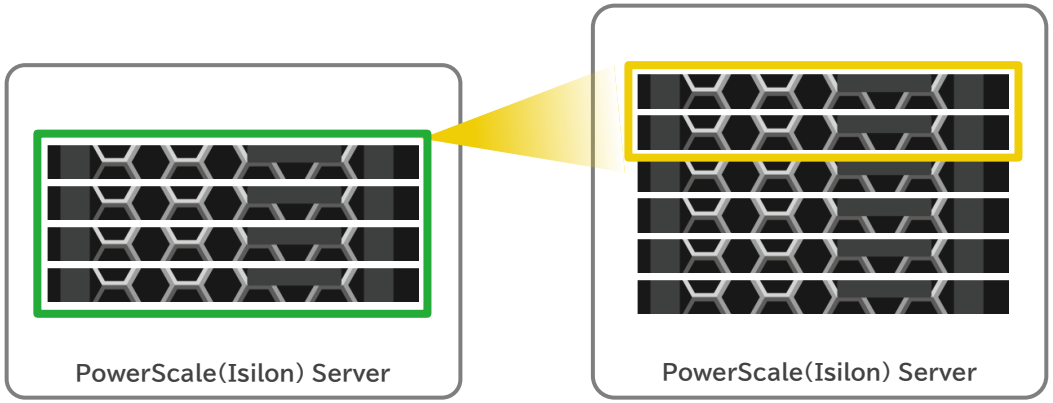
例）初回4ノード構成の場合



必要ライセンス
ALog ConVerter for PowerScale（Isilon） × 4ノード

※筐体に合わせてS/M/Lのレンジを選択して下さい

例）追加でスケールアウトした場合



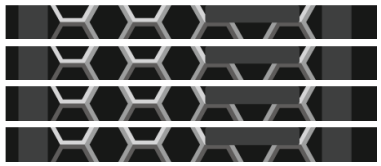
必要ライセンス
ALog ConVerter for PowerScale（Isilon） × 2ノード

※筐体に合わせてS/M/Lのレンジを選択して下さい

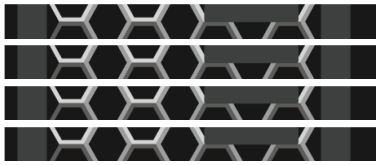
© AMIYA Corporation

ALog ConVerter for PowerScale（Isilon）

例）クラスタ構成をする場合



master



DR/backup/slave

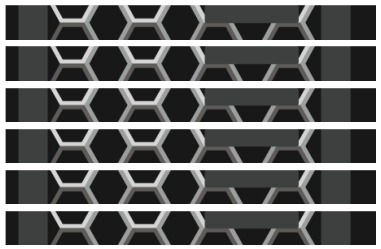
必要ライセンス

ALog ConVerter for PowerScale（Isilon）

× 8ノード

※筐体に合わせてS/M/Lのレンジを選択して下さい

例）クラスタ構成でそれぞれ機種が異なる場合 ①



F600

master

A200（4ノードシャーシ）

DR/backup/slave

必要ライセンス

ALog ConVerter for PowerScale（Isilon）S

× 6ノード

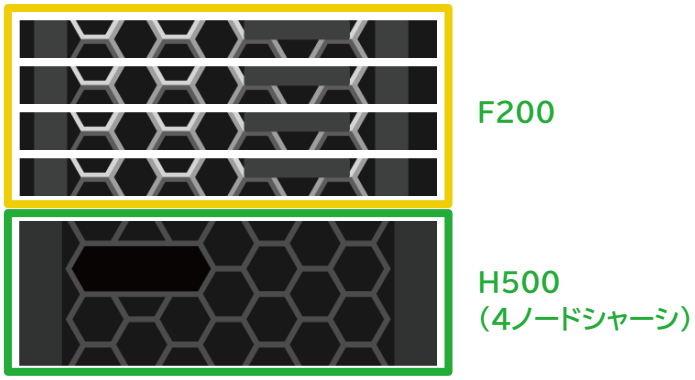
ALog ConVerter for PowerScale（Isilon）S

× 4ノード

© AMIYA Corporation

ALog ConVerter for PowerScale（Isilon）

例）クラスタ構成でそれぞれ機種が異なる場合 ②



PowerScale（Isilon）Server

必要ライセンス
ALog ConVerter for PowerScale（Isilon）S × 4ノード
ALog ConVerter for PowerScale（Isilon）M × 4ノード

© AMIYA Corporation

for Amazon FSx

■必要ライセンス数

Amazon FSx for Windows File Server / Amazon FSx for NetApp ONTAPのストレージ容量に応じてご選択ください。
実際のご利用領域にかかわらず、ご契約しているストレージ容量分のライセンスが必要です。

■ライセンスの追加契約

ご契約ライセンスの上限値を超えた場合、上位容量ライセンスへの切替えが差額分の購入で可能です。

■ライセンスの契約形態

サブスクリプションでのご契約となります。

Amazon FSx ストレージ容量
～25TB
～50TB
～100TB
～300TB
～500TB

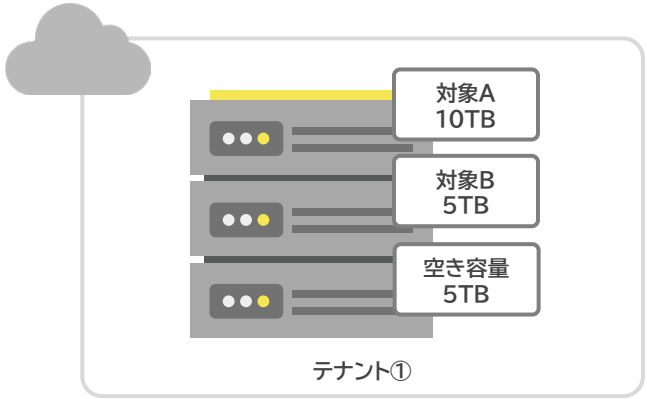
※対応サービスは、Amazon FSx for Windows File Server / Amazon FSx for NetApp ONTAP となります。

※ご契約ライセンスよりストレージ容量が超過した場合、ALog よりアラート通知されます。
アラート通知より30日経過するとログ収集を行ないません。
（Amazon FSx for Windows File Server / Amazon FSx for NetApp ONATAP側に蓄積されます。）
ご契約ライセンスより上位容量ライセンスへ切替される場合は、弊社営業までお問い合わせください。

© AMIYA Corporation

ALog ConVerter for Amazon FSx

例）対象A,B,Cのログを収集する場合



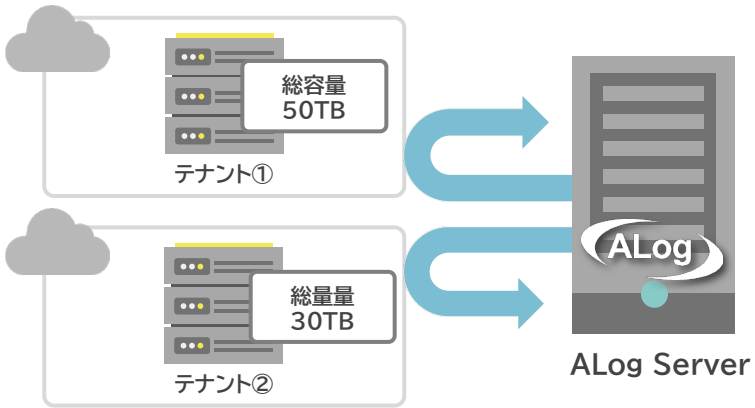
必要ライセンス

ALog ConVerter for Amazon FSx

25TB ライセンス

※ご利用領域を問わず、ご契約しているストレージの総容量でライセンスを選定します。この例では～25TB のライセンスが最適です。

例）テナント①、②のログを収集する場合



必要ライセンス

ALog ConVerter for Amazon FSx

100TB ライセンス

※マネージャーサーバは1台に集約することも、複数台(無償)たてることも可能です。

© AMIYA Corporation

for SQL Server

■必要ライセンス数

ライセンスは、ログ収集対象となるインスタンスの数量分ご購入ください。
WSFC（DBはSQL Server） 構成の場合、クラスタを構成するインスタンス分のライセンスが必要です。
詳細はお問い合わせください。
また上記以外の冗長構成の場合は、お問い合わせください。

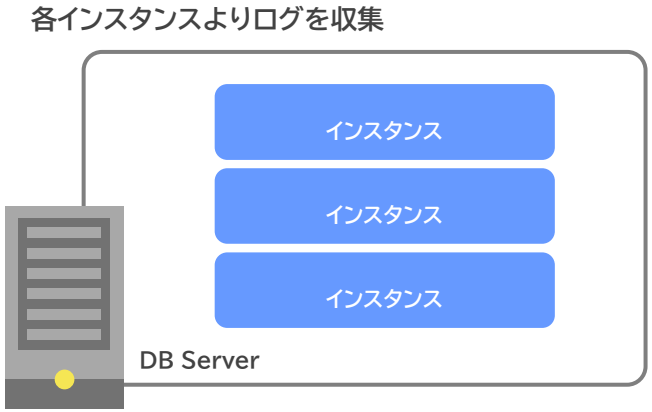
■ライセンスの追加購入

ライセンス追加購入時の累積ボリュームディスカウントはありません。初回購入時にサーバの追加を加味したご購入を推奨します。

© AMIYA Corporation

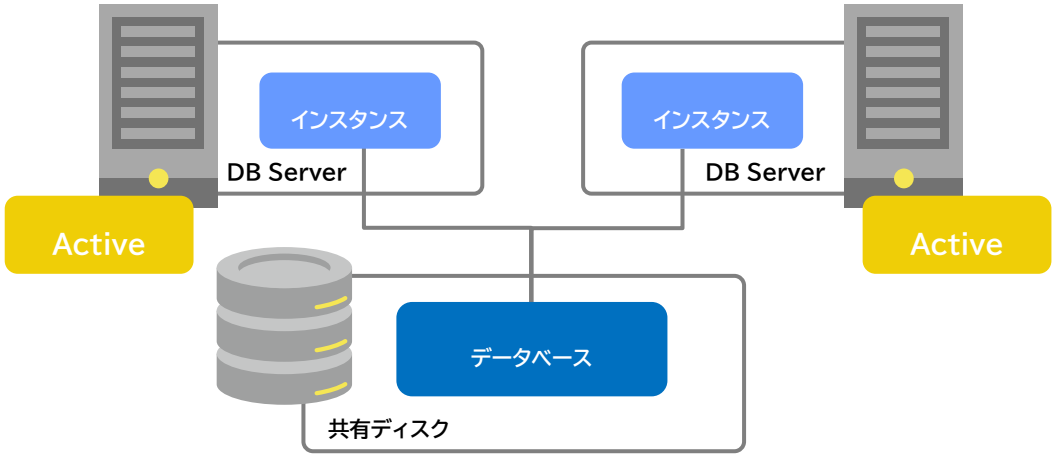
ALog ConVerter DB for SQL Server

例）複数のインスタンスを構成している場合



必要ライセンス
ALog ConVerter for SQL Server 3 ライセンス

例）SQL ServerのWSFC構成の場合



必要ライセンス
ALog ConVerter for SQL Server 2 ライセンス

© AMIYA Corporation

for Oracle

■必要ライセンス数

ライセンスは、ログ収集対象となるデータベースの数量分ご購入ください。
マルチテナント構成の場合は、コンテナデータベース(CDB)および、
ログ収集対象となるプラガブルデータベース(PDB)の数量分ライセンスが必要です。
Oracel RAC構成の場合、「インスタンス数 × データベース数」分のライセンスが必要です。
詳細はお問い合わせください。
また上記以外の冗長構成の場合は、お問い合わせください。

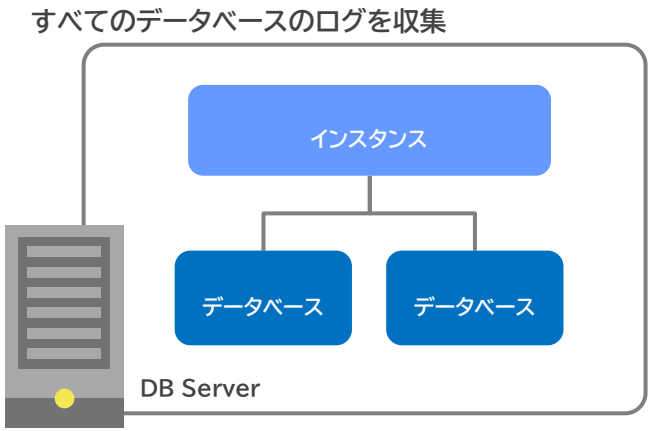
■ライセンスの追加購入

ライセンス追加購入時の累積ボリュームディスカウントはありません。初回購入時にサーバの追加を加味したご購入を推奨します。

© AMIYA Corporation

ALog ConVerter DB for Oracle

例）シングルテナント構成の場合 1つのインスタンスで複数のデータベースを構成している場合

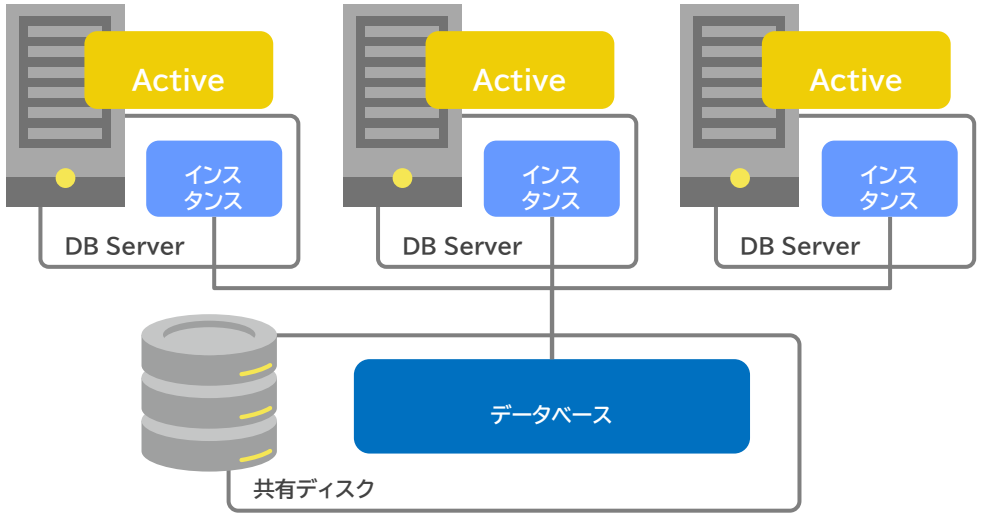


必要ライセンス

ALog ConVerter for Oracle

2 ライセンス

例）Oracle RAC構成の場合



必要ライセンス

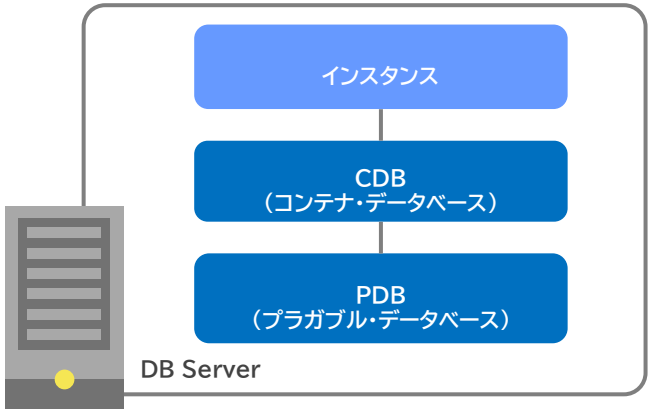
ALog ConVerter for Oracle

3 ライセンス

※原則として、監査対象となる「DBの数量×インスタンス数」分のライセンスが　必要です。詳細につきましては、お問い合わせください。

© AMIYA Corporation

例）マルチテナント構成の場合 ①



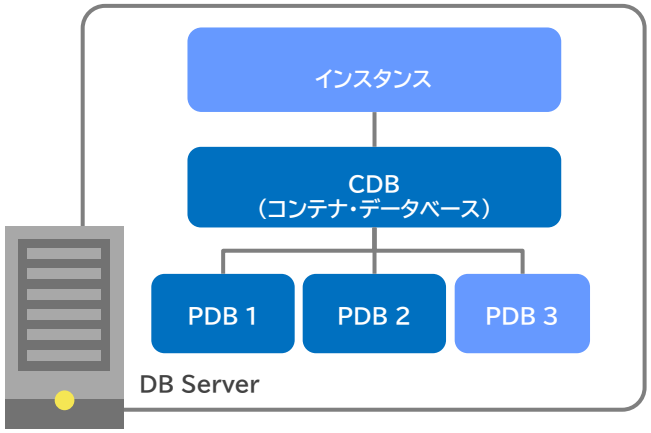
必要ライセンス

ALog ConVerter for Oracle
2 ライセンス

※CDB＋監査対象となるPDBの数量分のライセンスが必要です。

例）マルチテナント構成の場合 ②

PDB1、2からログを収集



必要ライセンス

ALog ConVerter for Oracle
3 ライセンス

※CDB＋監査対象となるPDBの数量分のライセンスが必要です。

© AMIYA Corporation

■必要ライセンス数

容量レンジはALog EVAが1日に収集するログの総容量に応じてご選択ください。
対象マシンの台数にかかわらず、ログの総容量に応じた容量レンジのライセンスが必要です。

■ライセンスの追加購入

ログの総容量が保有ライセンスの上限値を超えた場合、上位レンジのライセンスへの切替えが差額分の購入で可能です。

■ライセンスの合算/分割

保有ライセンスを合算して1日に取り込めるログ量を増やしたり、分割して複数のマネージャーサーバで運用したりすることも可能です。
お客様ごとに個別対応となりますので、担当営業までお問合わせ下さい。

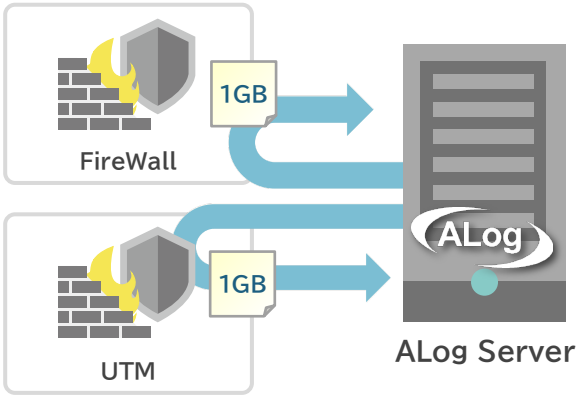
レンジ	1日に取り込めるログ量
Starter	5GB
Standard	20GB
Enterprise	50GB
Non-Limited	Non-Limited

※保有するライセンスの「1日に取り込めるログ量」を超えてログを収集した場合、ALog EVAは生ログをマネージャーサーバ内に保持したままログ変換（マッピング処理）を行ないません。保持された生ログは翌日に繰り越され、再度ライセンスで定める容量分のログ変換処理を行ないます。

© AMIYA Corporation

ALog EVA

例）FW・UTMのログを計2GB収集する場合



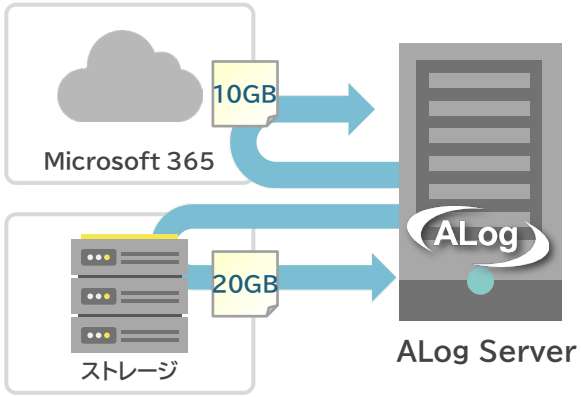
必要ライセンス

ALog EVA

1 Standardライセンス

※対象サーバの台数を問わず、1日に収集するログの総容量でライセンスを選定します。この例では20GB/dayのMレンジライセンスが最適です。

例）クラウドサービスとストレージ(オンプレ)のログを計30GB収集する場合



必要ライセンス数

ALog EVA

1 Enterpriseライセンス

※マネージャーサーバの台数を問わず、1日に収集するログの総容量でライセンスの容量レンジを選定します。

© AMIYA Corporation

サーバライセンス

■必要ライセンス数

サーバライセンスは、情報収集対象となるサーバの台数分ご購入ください。

物理サーバ、仮想サーバを問わず、サーバ1台につき1ライセンス必要です。

※CPUの数、コア数などで必要ライセンス数は変わりません

※情報収集対象のサーバを切り替えてライセンスを流用することはできません。

■最小購入数

最小購入単位は5サーバライセンスとなります。

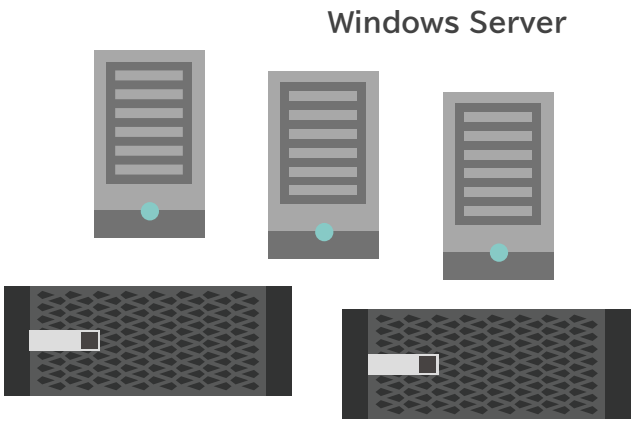
5ライセンス単位でのご購入をお願いしていますので、1ライセンスのみの購入はできません。

■ライセンスの追加購入

ライセンス追加購入時の累積ボリュームディスカウントはありません。初回購入時にサーバの追加を加味したご購入を推奨します。

© AMIYA Corporation

例）5台のサーバからアクセス権情報やファイル/フォルダ情報を取得する場合



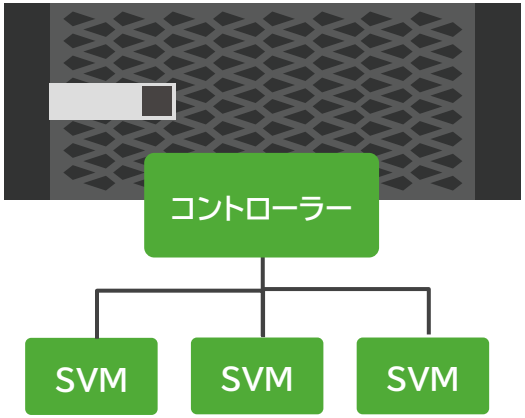
必要ライセンス

Resource Athlete

5 サーバライセンス

※NetAppの場合、物理サーバ/仮想サーバを問わず情報を取得するサーバ1台につき1ライセンス消費します。

例）NetAppの仮想ストレージからアクセス権情報やファイル/フォルダ情報を取得する場合



3つのSVMから
情報を取得する場合

必要ライセンス

Resource Athlete

3 サーバライセンス

※NetAppの場合、物理サーバ/仮想ストレージを問わず情報を取得するサーバ1台につき1ライセンス消費します。

※必要ライセンス数は3ですが、最小購入単位は5ライセンスとなります。

© AMIYA Corporation

アカウントライセンス

■必要ライセンス数

アカウントライセンスは、収集対象となる情報の種類によって必要数が異なります。
アカウント情報を収集する場合はユーザーアカウント数分、PCインベントリ情報を収集する場合はPC台数分のライセンスをご購入下さい。
両方の情報を収集する場合はユーザーアカウント数、PC台数、いずれか多い方でライセンスをカウントします。
※情報収集対象のサーバを切り替えてライセンスを流用することはできません。

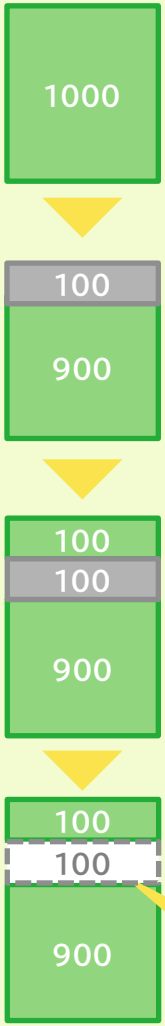
■最小購入数

最小購入単位は1000ライセンスとなります。
1000ライセンス単位でのご購入をお願いしていますので、1ライセンスのみの購入はできません。

■ライセンスの追加購入

ライセンス追加購入時の累積ボリュームディスカウントはありません。初回購入時にサーバの追加を加味したご購入を推奨します。

アカウントライセンスのカウントの仕組み



① もともと1000アカウント分の情報を取得していたため、ライセンス消費数は1000

② ドメインコントローラー上アクティブなアカウント数は900だが、退職者100人分の情報も保持しているのでライセンス消費は1000のまま

③ ドメインコントローラー上アクティブなアカウント数は1000だが、退職者100人分の情報も保持しているのでライセンス消費は1100となる

④ 退職者の情報を削除すると、その分のライセンスが解放され、ライセンス消費は1000となる

© AMIYA Corporation

例）1つのドメインからアカウント情報を取得する場合

ドメインコントローラ

OU-A

組織AのOUには500人
が登録されている

OU-B

組織BのOUにも500人
が登録されている

OU-Aのみが監査対象の場合
必要ライセンス数

Resource Athlete
500 アカウントライセンス

両方のOUが監査対象の場合
必要ライセンス数

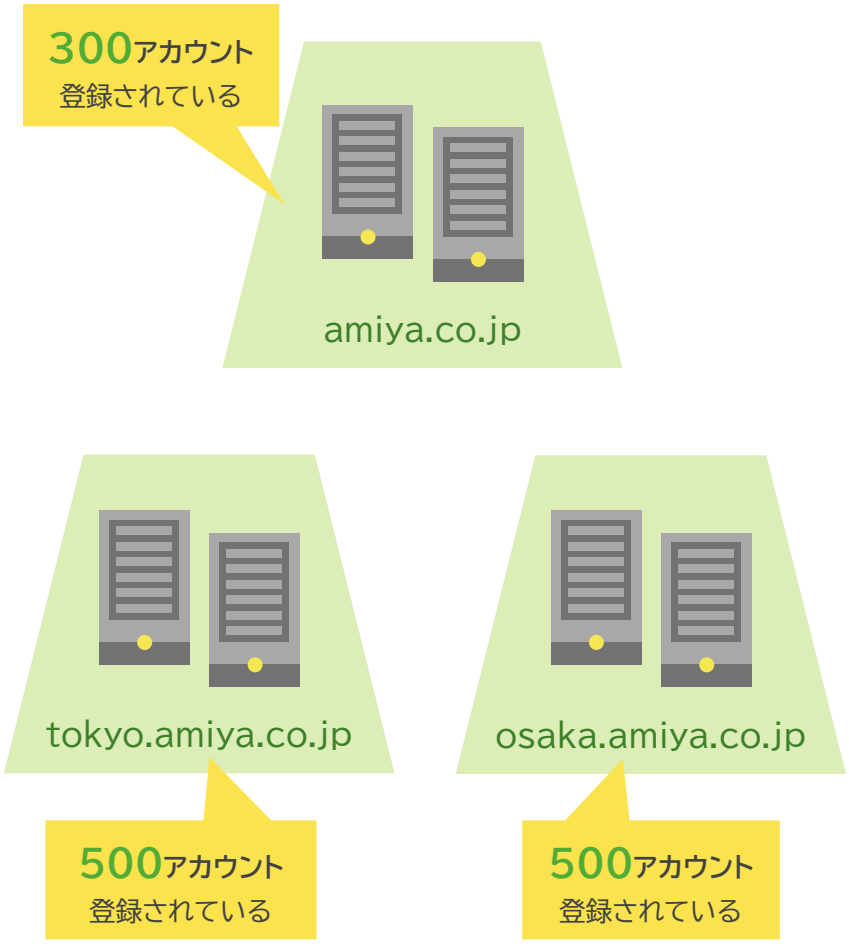
Resource Athlete
1000 アカウントライセンス

監査対象となるアカウント数と同数のライセンスをご購入下さい

ドメインコントローラーに1000人分のアカウントが登録されていても「特定の部門の500人分の情報のみを取得したい」と言うような場合は、500ライセンスで運用できます。

© AMIYA Corporation

例）複数の組織からアカウント情報を取得する場合



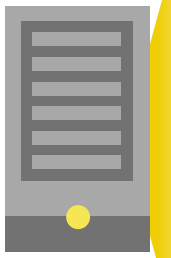
必要ライセンス数
Resource Athlete 1300 アカウントライセンス

監査対象となるアカウント数と同数のライセンスをご購入下さい

監査対象アカウントの総数が700であるにもかかわらず、アカウントライセンスを300しか購入せず、最初に”amiya.co.jp”の100人分の情報を取得し、その取得結果を削除して、次に”tokyo.amiya.co.jp”から300人分の情報を取得し、その結果を削除してさらに”osaka.amiya.co.jp”の情報を取得…と言ったライセンスの流用を行なうことは認められていません。

© AMIYA Corporation

例）組織変更などによって一時的に監査対象アカウントの総数が増減する場合



ドメインコントローラ

1年目

ある部門の監査対象アカウント数は
1000

移行期間

新たに配属予定の2人が追加され監査対象アカウント数は1002

2年目

元々この部門にいた2人が他部門に異動しこの2人のアカウントが削除されたため結果的に監査対象アカウント数は1000

必要ライセンス数
Resource Athlete 1000 アカウントライセンス

常時監査対象となるアカウント数と同数のライセンスをご購入ください

この例では一時的にアカウント数が1000を超えますが、最終的に1000アカウントになるため、必要ライセンス数は1000となります。
なお、移行期間には1002人分のアカウント情報を取得することになりますが、ライセンスを超過した分の情報は”＊”で表示されるため、ライセンス違反になることはありません。

© AMIYA Corporation